

てんが新聞

08.12.No139
発行所 市岡砥杖
0883-88-5292

十月はじめ、西日本第二の山、剣山から
うはじまった秋。

一日一日と祖谷溪谷を下って、祖谷を
紅や黄色で染めはじめ21日の
さまが、十月中旬一気に冬。

何十年振りの大雪にみまわれしました
私の家のあたりでも二十センチと積った
りして、天気予報にも安心して、まだ
タイヤ交換をしないなく二日コタツ
のりをするはめになりました。
たに、雪も真冬の雪ではなく、まる

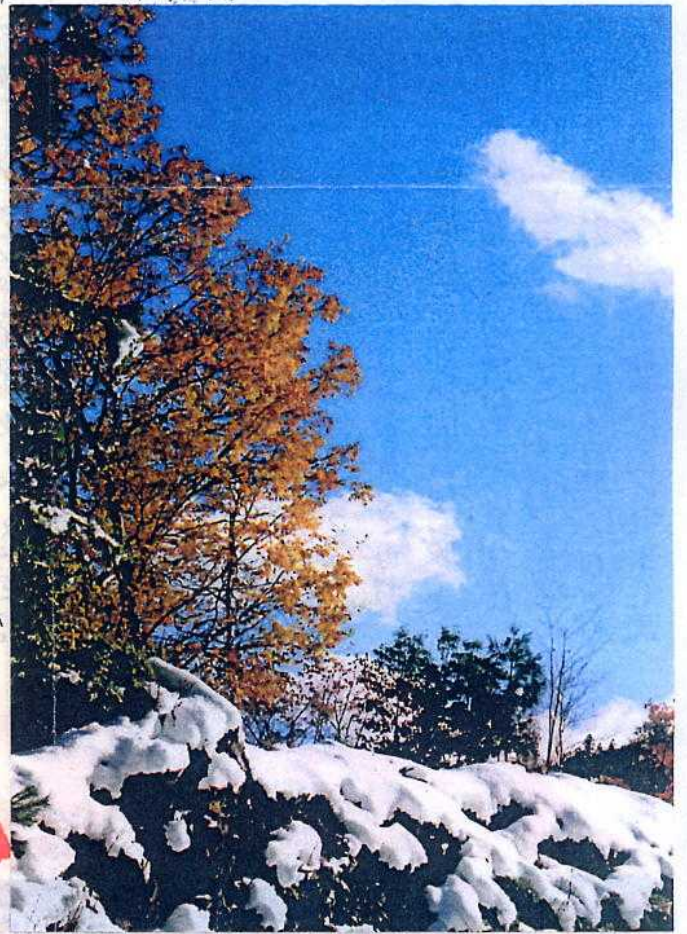
秋

から

一気

冬

11月の雪



ご春雪のようには水分を多く含んで
りて、竹をはじめ木々の枝が人かか
折れ道路をふさいでいました。
いつとびら、ちらつく程度、遠くの山脈が
白くはるかに、さうはきれいな雪の
と、タイヤも切りたくなるのですが、一面
真白になると、もう冬眠モードになら
しまふ。

その山でも、次の日には、道路はほとんど溶けて
しまし安心して走れました。
お年寄りの話では「青葉に雪が積もると
その冬は雪が少ない」といいます。

また、カマキリは、その年の雪の多さを予想し
てタマゴを生むそうですが、草刈りをくして
何回も出合ったタマゴは、地上数センチで
るので、雪の量も少ないのではひびくようか。
雪合戦をはじめ、ウィンタースポーツにとっ
心配される話ですが、生活するには、いい知らせ
のまづです。

たに、冬の雪が少ないと、飲料水が少なくな
る恐れがあり、これまで心配のタネです。
自然とつきあうには、まだまだ修業が足り
ないようです。

「一年間ありがとうございました。」
「お正月もお返し下さい。」

祖谷のゴウシモソバ

(ツマカイモ)

大人気

活彩祖谷村の中心の
ばあば連の畑で収穫
れた「ゴウシモ」が大人
気でした。
東祖谷商工会女性部の
期間限定のお店が販売
して頂き、完売。
「さがくさい」とい
まが多くて、「ゴウシモ
のつまぎを知りたい
ようぞ、これからの生活
のヒントになるようぞ。
また、障害者の作業場
「慶生あり」でも、「ゴウ
もの小さいのを「コロコロ」と
販売、同時に祖谷ソバも販
し、大人気だ、これと完売。
「その味が、おめいめと云がう
いるようぞ。」
三輪イカリネ

